



# 「知への初々しい憧れと畏敬の念」

## ～子どもの学びを支える教師力・学校力の強化～

校長通信第128号 令和4年1月31日

### 展覧会について

展覧会は盛況でした。作品鑑賞で子どものウェルビーイングを！



糞谷小の教育活動の最終目的に、自他共に大切にしたい思いやりの心を育むことを加えたいと思います。その一つの方策として、子どもたちに、学習資源である文化・芸術の価値を共有させたいと思います。図画工作科の教師がきめ細かな指導を通して計画してきた展覧会を有効に活用し、例えば、自分なりの思いを込めて、作品を最後まで仕上げる価値に触れさせたいと思います。思いを込めた作品は子ども自身の宝となります。また、作品作りに集中したこと自体が崇高な価値であり、互いの作品を尊重することにつながります。新しい価値を創り出す「価値」に気付かせたい、そんな展覧会にしたいと思います。展覧会によって、小さな「ウェルビーイング」を積み重ねてまいります。

子どもは行事で育つと言いますが、本当にそうだと思います。子どもファーストで、大人は二の次と考えていますが、やはり子どもの成長には保護者や教師、その他の大人の関わりがいかにかに必要かを感じます。今回の展覧会で思ったのは、子どもの作品を見に来る保護者や地域の方の姿でした。学校に人が集まるってなんて心地よいのだらうと思いました。みんな、子どもの成長の証を見に来るのですから。

本年度の展覧会は手作り感あふれ、新しい価値を生み出すような、そんなウェルビーイングを享受できました。鑑賞でのウェルビーイングです。子どもの表現が、人を幸せにする、そんな展覧会であったと思います。

私は、図画工作や美術が大好きです。最終的には、今後絵描きを目指すつもりです。もちろん趣味ですが、子どもたちのカラフルな色遣いを見て、子どもの感性はすごいな！と正直に圧倒されました。

先生方、夜遅くまで企画・運営をしてくださり、感謝です。おかげで、子どもの豊かな情操が養われたと思っています。

保護者の皆様、地位の皆様、糞谷小の先生方、展覧会という行事をとおして、「人をつなぎ、支え、育てる、心の優しい子どもたち」が育っているのを感じます。ありがとうございました。